

山形県教育センター 令和4年度調査研究

「不登校児童生徒の支援」に関する調査研究

R5.2.27 調査研究発表会
不登校児童生徒の支援担当者会

内 容

- ◆ 研究の経過
- ◆ 3年次（令和4年度）の研究内容
- ◆ 不登校児童生徒の支援 校内研修動画

◆ 研究の経過（令和2年度から令和4年度まで）

1. 研究のスタートライン（令和2年度）

2. 不登校に関する国の方針

3. 調査研究3年次の目標及び重点

1. 研究のスタートライン（令和2年度）

- ・これまでの不登校および別室登校対応の成果と課題をもとに、教師の必要な働きかけについて考察をする。
- ・「不登校を生まない学校づくり・学級づくり」、「不登校児童生徒への初期対応」、「不登校児童生徒・保護者への組織的支援」等のノウハウを共有できるように、学校現場が活用できる資料等の還元方法を検討する。

2. 不登校に関する国の方針

- ・不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）
（令和元年10月25日文部科学省）
 - 不登校児童生徒の支援は（略）児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある
- ・不登校に関する調査研究協力者会議（令和3年度文部科学省）
 - ・教育機会確保法及び基本指針の周知浸透
 - ・SOSの出し方教育の充実、ICTによる児童生徒の変化の可視化
 - ・教育相談の充実 ・家庭教育の充実
- ・生徒指導提要（令和4年12月文部科学省）
 - 改訂の方向性「積極的生徒指導」「関係法規等の変化」「チーム学校」
発達支持的生徒指導

3. 調査研究3年次（令和4年度）の目標および重点

教員の働きかけ

不登校児童生徒理解

組織的な支援

- ・「児童生徒の幸福（Well-being）のための支援」という観点で不登校児童生徒の支援策を整理
- ・教職員の不登校児童生徒理解とチーム対応力の推進向上を目的とした、OJT等で活用できる動画プログラムを作成

◆ 3年次の研究内容（令和4年度）

1. 動画プログラムの作成

2. アンケートの実施

3. 現場の先生の声

4. 研修動画コンセプト

1. 動画プログラムの作成

(1) 学校現場の多忙化、働き方改革による会議時間短縮

→ 現場でより導入可能な設計にする

(2) 若手教員の割合急増

→ ファシリテーター等不在でも実施可能な研修プログラムにする

2. アンケートの実施

(1) 実施日および対象

① R4.6～7 経験者研修受講者

R4.6.28～30

小・中・義務教育学校・特別支援学校5年経験者研修

R4.7.1 高等学校5年経験者研修

② R4.5 県教育センター所員

(2) 項目（回答は自由記述）

① 不登校児童生徒や保護者との関わりで困ったこと、
悩んだこと

② 不登校児童生徒の支援でうまくいったこと

3. 現場の先生方の声　ーアンケートよりー

〈不登校児童生徒・保護者との関わりで悩んだこと〉

- ・どこまで対応したらいいのか
- ・原因が分からなくてどうすればいいのか悩む
- ・意見の相違で間に挟まれ苦しい
- ・保護者と連絡が取りにくく協力依頼が難しい

→ どのようにかかわり・信頼関係を維持するか

3. 現場の先生方の声　ーアンケートよりー

〈不登校児童生徒の支援でうまくいったこと〉

- ・短い期間、長い目で見るなど、みんなで話し合うことができて助かった
 - ・ケース会議を何度も開いて、かかわりを続け、保護者に少しずつ心を開いていただいた
 - ・役割分担をして関わりを途切れないようにしたことがよかった
- 組織的な支援が児童生徒を近くで直接支援する先生方の支えになる

4. 研修動画コンセプト

(1) 目的

校内研修（全体、学年等）での活用

(2) コンセプト

今やってみよう、これは使えそう、と思える動画に
具体的な行動、言葉掛けを**考えてもらうための動画**に

(3) 仕様

あるシーンを「せんたん」が演じた導入と
解説を5分程度で作成



山形県教育センターキャラクター「せんたん」

◆ 不登校児童生徒支援 校内研修動画

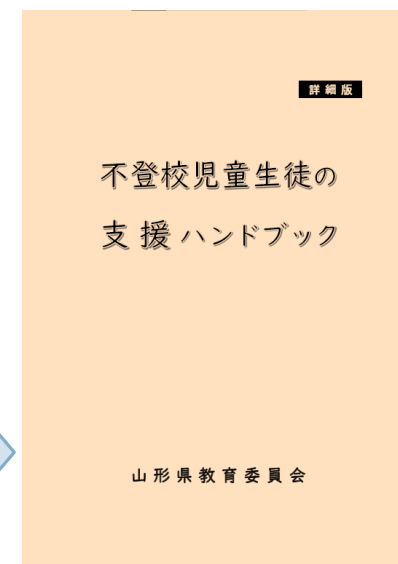
広報します！



「不登校児童生徒の支援について校内研修を行いたい」という時に活用可能な研修動画を2本作成しました。

自校ではどのような支援が考えられるか、考えを深めるヒントとしてご活用ください。

【参考】令和4年3月 山形県教育委員会
不登校児童生徒の支援ハンドブック



学校に行けない！？

—不登校児童生徒・保護者の支援—

学校に行けない！？
—不登校児童生徒・保護者の支援—

〈1〉
児童生徒の
混乱している気持ちを
落ち着かせる



不登校児童生徒や
その保護者の気持ち
に寄り添う視点、
かかわりについて
考えます。

Jさん、Kさんが仲が良かったですね。
別室に行ってもらいましょうか？

職員室

よろしく
お願いします……。



Aさん
保護者



担任

約5分×5本
を収録

学校に行けない！？ 収録内容

1. 学校生活につらさ・困難を抱えている
児童生徒とのかかわり方

〈1〉 児童生徒の混乱している気持ちを
落ち着かせる

〈2〉 児童生徒の思っていることをじっ
くり聴く

〈3〉 休みが続く前に支援する

2. 保護者とのかかわり方

〈4〉 保護者の動揺・混乱の背景を探る

〈5〉 保護者と信頼関係を築く

※〈 〉はチャプターのNo

脱・抱え込み！

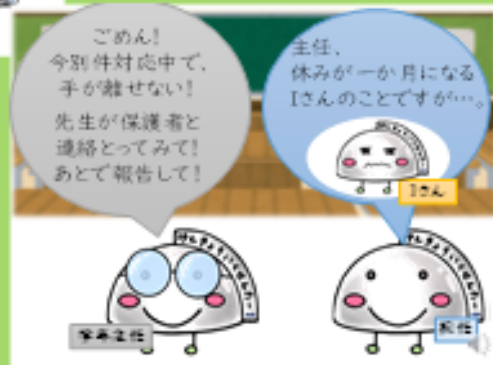
一チームによる支援一

脱・抱え込み！
一チームによる支援一

〈2〉
状況に応じて支援体制を変える



チーム支援を行う
上で大切にしたい
ポイントを押さえ、
自校にあった支援
の形について考え
ます。



約6分×4本
を収録

脱・抱え込み！ 収録内容

1. チームを作って支援する
 - 〈1〉 抱え込みをやめる
 - 〈2〉 状況に応じて支援体制を変える
2. 教職員全体の支援体制を整える
 - 〈3〉 教職員一人ひとりができる事を考える
 - 〈4〉 関係機関と組織で連携する

※〈 〉はチャプターのNo

活用機会 | ▶ どんな時に活用できる？

校内研修や学年での研修で、「不登校児童生徒の支援」について理解を深めたい時や、考えるヒントを得たい時に御利用いただけます。

学校の規模や校種にかかわらず、先生方同士で「こんなときどうする？」と話題にできるような内容としています。

研修時間 | ▶ どのくらいで視聴できる？

動画はそれぞれ**30分以内**で視聴できます。

限られた時間でも活用できるように設計しています。

放課後の職員研修会でも
活用できそう！



研修内容 | ▶ どんな内容の動画なの？

それぞれの動画で、架空のケースのある場面をもとに5～6分程度で解説をしています。「学校に行けない!？」には5本、「脱・抱え込み!」には4本のケースが収録されています。

ケースごとにチャプターがついているため、1本ごとに見ることも、全編通して見ることも可能です。また、**チャプターで止めて意見交換する時間を取るということもできる**でしょう。

どんな研修にしたいか、**各学校の研修時間の持ち方に応じて御活用**いただけます。

研修資料 |▶ 動画以外に資料はある？

動画の概要を記した「充実シート」を各動画に準備しております。研修動画とともに御活用ください。

その他、振り返りシートのようなものを、自校にあった形で作っていただいても良いかもしれません。

・*・* お 願 い *・*・

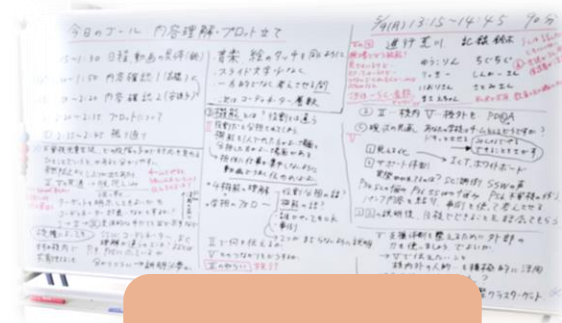
この研修動画は山形県内の先生方のみ視聴可能な、
限定公開の動画です。

利用を御希望の場合は、山形県教育センターホーム
ページ「お問い合わせフォーム」より御連絡ください。

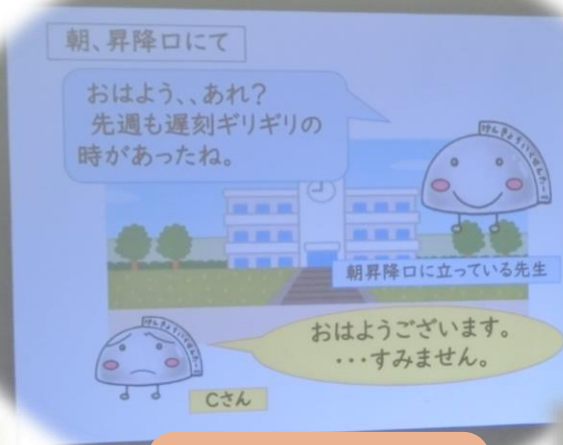
動画・充実シートの、紙面やインターネット上への複製
および転載は、いかなる目的であっても固く禁じます。

〈 製作 〉

調査研究 不登校児童生徒の支援 担当者会



内容構成検討



動画作成



収録
(アテレコ中)